

MEDIA RELEASE • COMMUNIQUE AUX MEDIA • MEDIENMITTEILUNG

報道関係者各位

2001年4月23日

[参考資料・英文リリース日本語訳]

ノバルティス2001年第1四半期売上 11%増の73億スイスフラン (約5,207億円)

- 医薬品のダイナミックな成長で スイスフラン・ベースで10%、現地通貨ベースで13%の伸びを記録。
- 米国の医薬品は22%の伸び。
- 米国で 型糖尿病薬「スターリックス」を成功裏に上市。

第1四半期売上

	2001年		2000年 ^注		前年比	
	百万スイスフラン	億円	百万スイスフラン	億円	スイスフラン建	現地通貨建
医薬品	4,538	3,228	4,115	2,706	10%	13%
ジェネリック	528	376	508	334	4%	7%
コンシューマーヘルス	1,591	1,132	1,562	1,027	2%	3%
チバビジョン	423	301	294	193	44%	47%
動物薬	240	171	251	165	- 4%	0%
合計	7,320	5,207	6,730	4,426	9%	11%

[注] 医薬品の一部のOTCおよびジェネリックへの移管、チバビジョンから医薬品セクターへの業務移管などに応じて調整済。

換算レート:2001年 1スイスフラン=71.13円
2000年 1スイスフラン=65.77円

スイス・バーゼル発 2001年4月19日

ノバルティスの第1四半期の売り上げは73億スイスフランで、現地通貨ベースで11%、スイスフラン・ベースで9%の伸びを示しました。売り上げが急速に伸びた事業部門は医薬品の13%とチバビジョンの47%でした。

医薬品（現地通貨ベースで13%増）

売上高は45億スイスフラン（約3,228億円）でした。主要成長製品の伸びと、新製品が成功裏に上市されたことなどにより、現地通貨ベースで13%、スイスフラン・ベースで10%増加しました。

プライマリーケア部門の成長要因となったのは「ディオバン」、「ラミシール」、「チバセン/ロトレル」、「フォラジール」、「エクセロン」でした。ノバルティスの重要な製品である高血圧症治療薬「ディオバン/コディオバン」は、39%の伸びで、市場シェアを拡大させました。また、抗真菌薬「ラミシール」は48%の伸びで引き続き健闘し、爪真菌症分野のリーダー的治療薬としての地位を保ちました。降圧剤「ロトレル」（チバセンとアムロジピンとの合剤）は14%伸びて、チバセン関連製品3%増の原動力となりました。アルツハイマー病治療薬「エクセロン」は、ヨーロッパと米国のダイナミックな売上増により、9,900万スイスフラン（約70億円）の売り上げを達成し、特に米国では、新規処方箋ベースで、3月末現在28%以上のシェアを獲得しています。21%伸びた喘息薬「フォラジール」は、2月に米国食品医薬品局（FDA）の承認を受け、第1四半期中に上市する予定です。

革新的な糖尿病薬「スターリックス」は、米国の医師や患者から大きな期待をもって受け入れられ、最近ヨーロッパでも承認されました。昨年12月、ノバルティスが買収した「ファンビル」と「デナビル」などの抗ウイルス薬は、ノバルティスの製品群のなかで健闘し、9,200万スイスフラン（約65億円）と、第1四半期の売り上げに貢献しました。

癌領域事業は大きく売り上げを伸ばし、優秀な成果を収めました。「フェマーラ」は急速にマーケットシェアを拡大させ、売り上げは59%伸びました。これは、米国で更年期後の女性で進行性乳がん患者の第1選択薬として上市されたことが大きな要因となりました。骨吸収抑制剤「アレディア」は34%増で、引き続き大きく伸び、末端肥大症等治療薬「サンドスタチン」は32%の売上増となりました。悪性腫瘍による高カルシウム血症治療薬「ゾメタ」は、EUの承認を取得し、第1四半期中に上市の予定です。

移植・免疫領域事業では、確固たる標準薬の地位を築いている「サンディミュン/ネオール」の伸びは3%で、これには日本での「ネオール」の上市が貢献しました。この伸びは、米国においてジェネリックの攻勢が続いて売り上げが5%減少したにもかかわらず、長い間「ネオール」を服用している患者に対して、医師が本剤を処方し続けたことによります。ネオールの新しい血中濃度モニタリングシステムを用いると、臓器移植時の急性拒絶反応が有意に減少することが証明されており、売り上げを維持するのに貢献しました。

眼科領域事業は、本年1月にチバビジョンから移管された事業ですが、湿潤型加齢黄斑変性症治療薬「ビスダイン」は、第1四半期の売り上げが8,000万スイスフラン（約57億円）を達成し、すばらしいスタートを切りました。「ビスダイン」は今年ヨーロッパの主要国で保険の払い戻し対象になったため、売り上げの増大が期待されています。さらに最近、ヨーロッパで承認された病的近視の適用拡大により、さらに売り上げが伸びると予想されます。

マチュアプロダクト事業では、鎮痛・抗炎症剤「ボルタレン」の伸びはマイナス7%と、各国で、ジェネリック品と激しく競合しています。しかし、昨年よりは低い売上減少率でした。

新薬開発パイプライン 新薬が続々登場、新データ発表

「グリベック」については、最初の臨床試験がスタートしてからわずか2年7ヵ月で、米国、EU等で承認申請を行いました。米国では優先審査の対象になっておりオーファンドラッグ(希少疾病用医薬品)の指定を受けています。ニューイングランド・ジャーナル・オブ・メディシン誌に発表された新しいデータによると、慢性骨髄性白血病患者およびある種の固形がんGastrointestinal Stromal Tumors (GIST)患者で、優れた有効性と安全性が示されました。

革新的な免疫抑制剤「サーティカン」の第 相臨床試験では、併用療法によりネオオールの使用量の減量効果を調べるために、試験プロトコールが修正されました。これは、承認申請の条件をより良くするためのもので、申請のタイミングは、当初予定していた2001年半ばから、2001年第4四半期になる予定です。

ノバルティスは、FDAの諮問委員会が第3四半期に行われると仮定して、喘息・アレルギー性鼻炎治療薬「ゾレア」の承認は、2001年後半もしくは2002年初頭になるだろうと予想しています。

ノバルティスの癌領域部門は、多剤耐性克服剤「アムドレイ」の開発を中止しました。これは、子宮がん患者への臨床試験で、コントロール群に比べ有意な改善効果が見られなかったことによります。

湿疹の治療薬として開発中の新しい非ステロイド性クリーム剤の「エリデール」に関する臨床試験結果が発表されました。これによると、湿疹での発赤やコルチコステロイドで治療する必要がある痒みを有意に軽減させました。「エリデール」は、特に小児への長期使用にも使えることが示されました。また、「エリデール」が乾癬の治療薬としての可能性を持つ臨床結果が得られたことから、2002年より、第相臨床試験へと開発を進める予定です。

コンシューマーヘルス (現地通貨ベースで3%増)

OTC薬の売上高は鎮痛・抗炎症剤「ボルタレン エマルジェル」、抗真菌薬「ラミシールクリーム」、下腿静脈瘤治療薬「ベノルトン」などの売上増で、前年比6%の実績でした。冬場に風邪薬の売り上げが奮わず、またフェニルプロパノールアミン含有製品を回収したにもかかわらず、売り上げは増加しました。ドイツと英国で「ラミシールクリーム」を成功裏に上市しました。また日本では、新しい合併企業であるノバルティス花王株式会社が営業を開始しました。

チバビジョン (現地通貨ベースで47%増)

レンズ事業は難しい市場環境と、また流通業界の在庫削減という環境下にありながら、コンタクトレンズ「フォーカス」の大量販売で大きな売上増を記録しました。レンズケア商品の売り上げは、従来型コンタクトレンズにかわり、「フォーカスデイリーズ」などの使い捨てコンタクトレンズの台頭で大きな影響をうけています。売上増に大きく貢献したのは成功したウエスリージェッセン社の買収で、成長要因の43%を占めました。

本年第1四半期にチバビジョンは世界初の使い捨てコスメティック トーリックレンズである「フレッシュ ルック カラーブレンド トーリックレンズ」を新発売しました。また、世界初の1日使い捨て老眼矯正用多焦点レンズ「フォーカス デイリーズ プログレッシブ」について、FDAの販売許可を取得しました。

動物薬（現地通貨ベースでゼロ%）

第1四半期の業績にはブタの消化器・呼吸器疾患治療用抗生物質「チアムリン」が大きく伸びたこと、また最近、ワクチン事業を買収したことが貢献しました。また、犬の心臓病薬「フォルテコール」も大きく成長し、さらにネコの腎不全への適応拡大で伸びました。このようにプラス要因に恵まれた動物薬でしたが、英国の畜産ビジネスの危機（口蹄疫）と、米国のペットビジネスの寄生虫対策薬の販売不振などのマイナス要因によって相殺されました。

ノバルティス株価の魅力増大

ノバルティス株の1対40の分割案は、3月の定例株主総会で承認されました。実行は5月初旬で、新株の取り引きは、法律上の変更手続きが終了する5月7日からスイス証券市場で開始されます。これによって一般投資家にとって魅力が増し、ノバルティスのアメリカの受託株に対し、1対1で調整されます。ノバルティスは総額40億スイスフラン（約2,845億円）の第2トレーディングラインを通じて2回目の株買い戻しを実行に移しました。現在まで、456,000株が総額12億スイスフラン（約853億円）で買い戻されています。

将来の展望

いくつかの新薬の上市を目前にして、本年は大きく成長すると期待しています。II型糖尿病治療薬「スターリックス」は、現在米国とヨーロッパで市場浸透しつつあります。悪性腫瘍に伴う高カルシウム血症治療薬「ゾメタ」は、現在ヨーロッパで市場に浸透しつつあり、米国で審査中です。過敏性腸症候群治療薬「ゼルマック」と、喘息およびアレルギー性鼻炎治療薬「ゾレア」は、現在審査が行われています。慢性骨髄性白血病の画期的な治療薬「グリベック」は、この2月に米国、EU等で承認申請され、米国FDAでは優先審査の対象となっています。

医薬品セクターの新しいビジネスユニット体制と、販売戦力のさらなる増強により、成長の鍵を握る製品分野と新薬に資源の配分を集中できるようになりました。

医薬品セクターは、通年で市場全体の成長規模と同レベルの成長を期待しています。コンシューマーヘルスとチバビジョンは、通年の成長率は同レベルで、ジェネリックと動物薬は後半持ちなおすものと見えています。

先に発表した通り、2001年の新薬上市に向けて、10億スイスフラン（約711億円）の追加投資をマーケティングと販売体制に行います。その結果として、医薬品セクターのマージンは約2%縮小されることが予定されています。これらの効果は2003年以降に表われると思われず。

グループ全体では営業利益率が1から2%減少するとみられます。しかし、通年の営業利益と純利益は昨年レベルを上回ると見えています。

上記の発表には、現時点での将来への予想と期待が一部含まれております。従って、その内容に関しては、また将来の結果については、不確実な要素や予見できないリスクなどにより、将来の結果が現在の予想と異なる可能性があることをご確認ください。なお、詳細につきましては、ノバルティスが米国証券取引委員会に届けておりますForm 20-Fをご参照ください。

ノバルティスは、医薬品、コンシューマーヘルス、ジェネリック、アイケア、動物薬を事業の柱とする、ヘルスケアにおける世界的リーダーで、ニューヨーク証券取引所に上場しています。ノバルティスグループの継続する事業の2000年度の売り上げは291億スイフラン(約1兆8,600億円)、研究開発には約40億スイフラン(2,600億円)を投資しています。スイス・バーゼル市に本拠を置くノバルティスは、約69,000人の社員を擁し、世界140カ国以上で事業を行っています。
詳細は、<http://www.novartis.com>をご覧ください。

今後の業績発表予定

2001年8月16日 上半期業績発表
2001年10月18日 第三四半期業績発表
2002年2月7日 2001年度業績発表

お問い合わせ先

ノバルティス ファーマ株式会社

〒106-8618 東京都港区西麻布4-17-30
広報担当・渡辺 邦男 電話：03-3797-8027 ファクシミリ: 03-3797-4367
岡田 祥宏

チバビジョン株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー13階
広報担当・清野 美智恵 電話：03-5461-1029 ファクシミリ: 03-5461-1398

ノバルティス アニマルヘルス株式会社

〒105-6137 東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル7階
広報担当・丸尾 真知子 電話：03-3435-5245 ファクシミリ: 03-3435-4012